

基本 目標 3

魅力

もっと、県土に魅力を

人口減少と高齢化が同時に進行する局面でも都市部から中山間地域に至るまで、誰もが買物や通院など生活に必要なサービスを楽しみやすく、安心して豊かな暮らしを持続できるよう、「まちのまとまり」の維持と、それらをつなぐ「多様な移動手段の確保」に取り組み、生活の質の高い魅力ある県土づくりを推進します。

政策 6 持続可能な地域づくり・まちづくり

施策 1 まちのまとまりとネットワークの形成 【予算額】 9,393,253 千円※

施策 2 観光ネットワークの構築 【予算額】 13,957,088 千円※

政策 7 多様な移動手段の確保

施策 1 鉄道・バスが運行されていない地域の移動手段の確保 【予算額】 99,672 千円※

施策 2 鉄道・バスが運行されている地域の移動手段の確保 【予算額】 2,154,670 千円※

政策 8 良好なまち並みと快適な住まいづくり

施策 1 地域の誇れる景観づくり 【予算額】 5,884,500 千円※

施策 2 快適な居住環境づくり 【予算額】 1,248,674 千円※

施策 3 安心して暮らせる住まいづくり 【予算額】 913,563 千円※

施策 4 長く大切に使う住まいづくり 【予算額】 203,910 千円※

政策 9 ハツ場ダム関連事業の促進

施策 1 生活再建等関連事業の促進 【予算額】 17,316,237 千円※

施策 2 ダム湖を活用した新たな魅力づくり 【予算額】 70,000 千円※

※施策ごとの予算のため重複する場合があります。

政策 6

持続可能な地域づくり・まちづくり

人口減少と高齢化が同時に進行する局面でも、都市部から中山間地域に至るまで、買物や通院など生活を支えるサービスが享受しやすい「まちのまとまり」を維持し、それらをつなぐ「多様な移動手段の確保」に取り組みます。

施策 1

まちのまとまりとネットワークの形成

【予算額】 9,393,253 千円

(1) まちのまとまりの維持

誰もが買物や通院などの生活に必要なサービスを楽しみやすく、安心して豊かな暮らしを維持できるよう、それぞれの区域で市町村と連携して「まちのまとまり」の維持に取り組んでいきます。

(2) 中心市街地の再活用（まちのにぎわいづくり）

中心市街地を再活用するため、誰もが容易にアクセスできる多様な移動手段を確保するための取組を推進し、人を呼び込み、にぎわいを創出する施策を、市町村と連携して中長期的に推進していきます。

中心市街地活性化

まちのにぎわいを創出するため、中心市街地の活性化に資する取組を支援します。



オープンカフェの事例（高崎市）



住宅の整備事例（太田市）



オフィスや商業施設等の整備事例（太田市）

(3) 歩いて暮らせるまちづくり

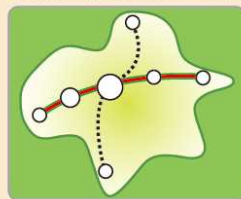
歩きたくなるまちづくりの実現に向け、「まちのまとまり」の維持、まちのにぎわいの創出、自動車以外の多様な移動手段の確保に取り組みます。

(4) 公共交通を軸としたまちづくり

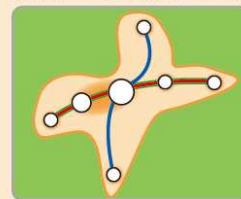
鉄道駅や基幹的なバス路線の沿線に公共施設等の立地を誘致することで、公共交通の利用を促進させるとともに、利便性の高いまちのまとまりの形成につながるように、市町村と連携して取り組みます。

公共交通を軸としたまちづくり

広範囲に拡散したまち



拠点や公共交通を軸としたまち



凡例

- 拠点
- 拠点以外の駅等
- 公共交通など
- 都市機能の集積（濃淡は集積の度合いを示す。）

(5) 「まちのまとまり」をつなぐ公共交通

「まちのまとまり」を公共交通でつなぎ、公共交通を含めた多様な移動手段が選択できる社会の実現に取り組みます。

駅間接続



駅間接続の事例（福井鉄道）



駅間接続のイメージ図

広域的な基幹バス



出典：バスラマインターナショナルNo.154より転載

(6) 「まちのまとまり」をつなぐ道路

円滑な移動を確保するため、「まちのまとまり」や地域間を結ぶ道路ネットワークの整備・強化に取り組みます。

●まちのまとまりの維持

【市町村によるアクションプログラム策定支援】

「まちのまとまり」を維持するため、市町村による「アクションプログラム」の策定を支援します。平成31年度は、高崎市、渋川市、沼田市、安中市の4市で策定する予定です。

●中心市街地の再活用（まちのにぎわいづくり）

【まちなか居住再生等支援】

まちのにぎわいを創出するため、まちなか居住の再生を促進する優良な住宅の整備費の一部を補助します。

- ・JR前橋駅北口地区（前橋市）、本町14地区（前橋市）、高崎駅東口第九地区（高崎市）

●公共交通を軸としたまちづくり

【立地適正化計画の策定支援】

利便性の高いまちのまとまりの形成につながるように、市町村による「立地適正化計画」の策定を支援します。平成31年度は、高崎市、桐生市、館林市、渋川市、藤岡市の5市で策定する予定です。

●「まちのまとまり」をつなぐ公共交通

①公共交通の利用促進（モビリティ・マネジメント）

- ・県庁、前橋市役所職員を対象に、自動車から公共交通への転換を促す「モビリティ・マネジメント」を実施します。
- ・小学生を対象としたバスの乗り方教室の開催、新高校生に向けたバスの通学利用を促進します。

②新たな公共交通軸の形成（東毛広域幹線道路BRT）

- ・新たな公共交通軸となる東毛広域幹線道路でのBRT導入に向けて、平成31年度は、運行計画や導入車両等の検討を行います。

BRTのイメージ



寺尾藤岡線の現状



敷島公園大師線の現状



●「まちのまとまり」をつなぐ道路

渋滞対策や快適な歩行空間を確保するため、道路の拡幅を行います。

- ・県道前橋長瀬線 綿貫工区 現道拡幅（高崎市）
- ・（都）前橋長瀬線 高崎工区 現道拡幅（高崎市）

高崎市と藤岡市を結び、渋滞対策や円滑な移動を確保するため、道路整備を推進します。

- ・県道寺尾藤岡線 バイパス整備（高崎市、藤岡市）

渋滞対策や快適な歩行空間を確保するため、歩道の設置や道路の拡幅を行います。

- ・（都）敷島公園大師線 2期工区 現道拡幅（前橋市）

農地までの移動時間や農産物出荷時間の短縮のため、農道をつくります。

- ・榛名南麓2期地区（フルーツライン） 農道事業（高崎市）

今年度のトピックス

県道桐生伊勢崎線 交差点改良（伊勢崎市）
 国道406号 交差点改良（高崎市）
 県道前橋大間々桐生線 交差点改良（桐生市）
 （都）笛木通り線 現道拡幅（高崎市）

H31年度完成予定
 H31年度完成予定
 H31年度完成予定
 H31年度完成予定

施策2

観光ネットワークの構築

【予算額】 13,957,088 千円

(1) 公共交通による観光ネットワークの構築

県内外の観光客にとって利便性が高い公共交通による観光ネットワークの構築と、乗換え案内等の情報提供を通じ、観光利用による公共交通の利用者確保と観光振興を図ります。

観光地間を結ぶ公共交通ネットワーク



広域関東周遊ルート
【東京圏大回廊】*
江戸文化回廊コース（観光庁）
出典：国土交通省ホームページより



路線バス等の経路検索による情報提供

出典：本画像は、Google マップ から転載

(2) 道路整備による観光ネットワークの構築

交流人口の増加による地域の活性化を図るため、主要観光地間を連携させる広域的な周遊観光ルートの整備や、観光地へのアクセス向上に向けた道路整備を推進します。

(3) 外国人観光客の受入環境の整備

急増する訪日外国人観光客の誘客を図るため、情報提供の多言語化など、外国人観光客の受入環境の整備を推進します。



道路案内標識の英語表記化の例

平成31年度

主要事業の概要

●道路整備による観光ネットワークの構築

世界遺産「荒船風穴」へのアクセス性向上等を図るため、道路を拡幅したり、待避所をつくります。

- ・ 県道下仁田浅科線 現道拡幅（下仁田町）

ラムサール条約湿地「芳ヶ平湿地群」へのアクセス性を向上させるため、道路の拡幅を行います。

- ・ 県道中之条草津線 現道拡幅（中之条町）

全国有数の温泉地である「草津温泉」へのアクセス性を向上させるために登坂車線を設置します。

- ・ 国道292号（草津町） 登坂車線整備

2020年4月～6月に開催される「群馬デスティネーションキャンペーン」に向けて、受け入れ体制整備の一環として、観光案内標識（道路標識）の充実を図ります。

- ・ DC関連案内標識設置



県道下仁田浅科線 完成区間



完成前



完成後

国道292号 完成区間

今年度のトピックス

県道下仁田浅科線 現道拡幅（下仁田町） H31年度完成予定
国道292号 登坂車線整備（草津町） H31年度完成予定
DC関連案内標識設置 H31年度着手完成予定

政策 7

多様な移動手段の確保

人口減少が本格化し、今後も人口構成の大きな変化が見込まれる中でも、誰もが「『自動車以外の移動手段』も選択できる社会」の実現に向けて、多様な移動手段の確保に努めます。

施策 1

鉄道・バスが運行されていない地域の移動手段の確保 【予算額】 99,672千円

(1) 地域に適した移動手段の導入支援

県内外における事例調査、市町村への情報提供、実証実験などを通じた市町村へのコミュニティバスやデマンドバス・タクシーなどの導入支援を行います。また、どのような地域にどのような移動手段が適しているかの分析を行い、市町村とともに地域に適した移動手段の確保に取り組みます。

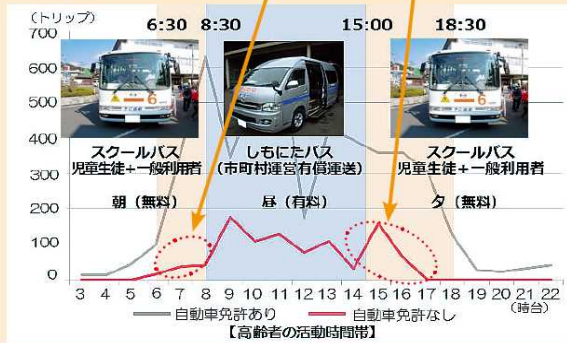
多様な移動手段の例

輸送形態を含め、多様な選択肢の中から地域に適した移動手段の導入や運行方法の見直しなどの支援に取り組みます。



デマンドバス・タクシーのイメージ

混乗化により免許を持たない高齢者の活動（移動）時間帯が増加



スクールバスへの混乗と市町村運営有償輸送を組み合わせた事例（下仁田町）

(2) 新たな移動手段の導入検討

全国で実証実験が進められている「新たな移動手段を確保するための取組」について、先進事例の調査、タクシー会社や配車アプリ開発会社からの情報収集、市町村への情報提供、実証実験の支援などを通じた市町村の新たな移動手段の導入の取組を支援します。

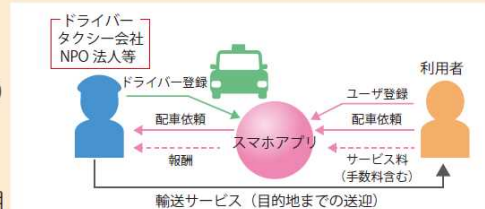
検討例

① タクシーが運行している地域

タクシーを利用したマッチングサービスによる相乗り促進に取り組みます。

② タクシーが運行していない地域

NPO法人等が運送を行う自家用有償旅客輸送を活用した相乗りサービスの促進に取り組みます。



スマホアプリを活用した相乗りサービスのイメージ

(3) 自動運転技術の活用

国や県内における実用化に向けた取組を注視しながら、関係者と必要な連携を図り、自動運転技術の導入に向けた検討を行います。

自動運転技術の検討



県内における自動運転技術の取組（群馬大学）

平成31年度

主要事業の概要

● 新たな移動手段の導入検討

【住民互助による移動手段（相乗りなど）の導入検討】

住民互助による移動手段（相乗りなど）の本県での導入可能性を検討し、実証実験を通じて市町村での導入を支援します。

（H31：モデル地区での実証実験を実施）

タクシーの相乗りによる実証実験 （前橋市城南地区）



施策2

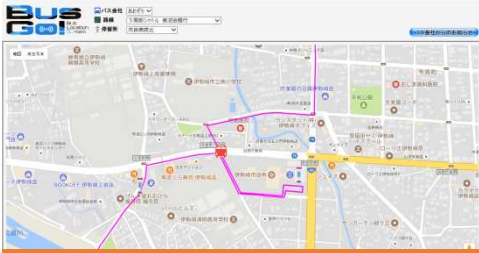
鉄道・バスが運行されている地域の移動手段の確保

【予算額】2,154,670千円

(1) バス

① ICTを活用したバスの利便性向上

より利用しやすい公共交通への改善に向けた取組を支援します。



バスロケーションシステムのイメージ



交通系ICカードのイメージ



バス路線のかんたん検索のイメージ

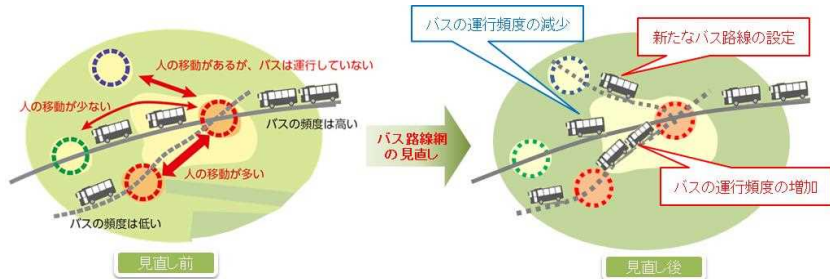
出典：本画像は、Googleマップ から転載

②バスの定時性の確保

基幹となるバス路線を中心に、バスの定時性を確保するため、国・県・市町村の各道路管理者や警察と連携を図り、交差点の右折レーン設置などの交通円滑化対策に取り組みます。

③パーソントリップ調査結果等を活用したバス路線網の見直し

持続可能な公共交通ネットワークの形成を図るため、バス路線網等の見直しを支援します。



バス路線網の見直しのイメージ

④路線バスの運行支援

学生や高齢者などの交通弱者の日常生活に欠かすことのできない地域の移動手段を確保するため、路線バスの運行支援やバス運転手確保対策、バス停留所等の待合環境の改善やバリアフリー化などの取組を行います。

(2) 鉄道

①駅の利便性向上

鉄道沿線で鉄道利用が少ない地域については、利用者の拡大を図るため、駅周辺でのパークアンドライド駐車場の整備を推進します。また、市町村や交通事業者と連携し、鉄道駅へのアクセス向上を図るため、アクセス道路や駅前広場等の整備を推進します。



整備前



整備後



パークアンドライド駐車場のイメージ

②乗換えによる不便さの改善

需要予測などを踏まえて、相互乗入れや同一ホームでの乗換え等による乗換抵抗の改善に向け、市町村・交通事業者とともに、引き続き検討していきます。

③中小私鉄への支援

広域的な移動を支える鉄道網を維持するため、中小私鉄3線などの鉄道事業者の運営の安定化と安全な運行の支援に取り組みます。

(3) 自転車

①自転車の円滑な利用環境の整備

身近な移動手段として重要な役割を担う自転車について、安全で快適な利用環境を確保するため、自転車の走行位置を示す路面表示などにより、自転車通行空間の整備を推進します。

●バス

【交通系ICカードの導入支援】

県内路線バスでも、スイカやパスモなどの全国相互利用可能な交通系ICカードが使えるよう、導入支援に取り組みます。

【交通円滑化対策】

バスの定時性を確保するため、交差点の右折レーン設置などの交通円滑化対策に取り組みます。

- ・ 県道前橋高崎線 交差点改良（高崎市）

【バスの利便性向上】

バス運行の効率化や利便性向上のため、PT調査結果を活用したバス路線網の見直しや、バスロケーションシステムの試験導入を行います。

【バスの運転手確保】

路線バス乗務員の労働条件や実情等に係る課題を分析し、バス事業者に対し労働力確保に向けた指導及び支援に取り組みます。

●鉄道

【鉄道の利便性向上を図る】

駅へのアクセス道路整備や、乗換えをしやすいするため、路線ごとに「鉄道利用促進アクションプログラム」を策定します。平成31年度は、JR上越線、JR信越本線、上信線、わたらせ渓谷線の4路線において策定します。

【中小私鉄への支援】

- ・ 上毛線活性化・再生対策 踏切保安装置の更新等
- ・ 上信線活性化・再生対策 車両更新等
- ・ わたらせ渓谷線活性化・再生対策 PCマクラギ化等

【駅前広場の整備】

自動車と歩行者が混在している新桐生駅前について、利用者の安全を確保し、駅前を魅力ある空間とするため、駅前広場を推進します。
 ・（都）本町線 駅前広場整備（桐生市）

●自転車

【安全で快適な自転車利用環境の整備】

安全で快適な利用環境を確保するため、自転車通行空間を整備します。
 ・（都）本町線 自転車通行帯整備（桐生市）

今年度のトピックス

- 前橋赤十字病院の関係路線4社19路線でバスロケーションシステムを試験導入 H31年度試験導入
- 県内路線バスに交通系ICカードを導入 H32年春導入予定



上信電鉄 平成30年度更新車両

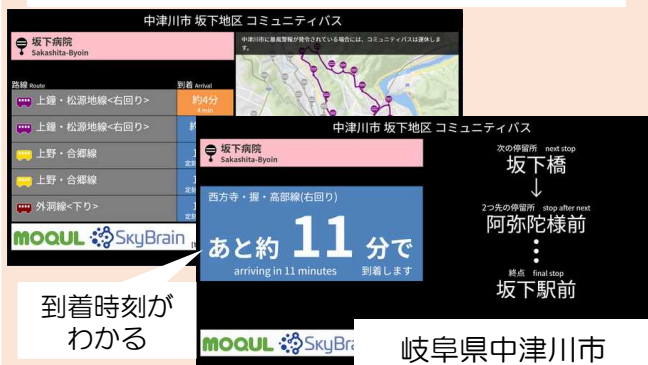


バスロケーションシステム

GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停の表示板や携帯電話、パソコンに情報提供するシステムです。

これにより、渋滞や雨などの理由によりバスが遅れているときのバス待ちのイライラを解消できます。

【バスロケーションシステムの表示イメージ】



到着時刻がわかる

岐阜県中津川市

【Googleマップでの検索イメージ】



バス遅延に対応した経路検索が可能

スマートフォンなどで、路線バスの所在地や到着時刻がわかるようになります。

政策 8

良好なまち並みと快適な住まいづくり

暮らしにゆとりと豊かさをもたらす、良好なまち並みや景観形成と、快適な居住環境を維持・創出するとともに、誰もが安心して住み続けられる住まいづくりを推進します。

施策 1

地域の誇れる景観づくり

【予算額】 5,884,500 千円

(1) 景観まちづくりの支援

本県の有する個性豊かで美しい景観を活かし、県民の郷土に対する誇りをはぐくむとともに、本県の魅力を広く発信するため、市町村の「景観まちづくり」の取組を支援します。

景観行政団体^{*}への移行支援

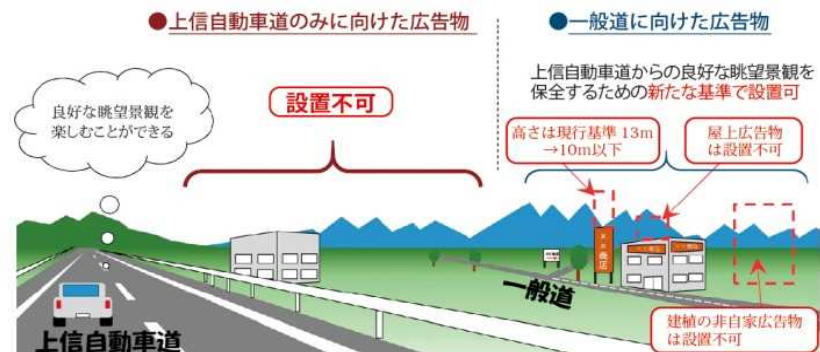
地域の特性を活かした景観づくりを推進するため、市町村が「景観計画」を策定し、きめ細かな規制誘導方を展開できるよう、市町村の景観行政団体への移行を支援します。



景観行政団体の取組事例 「草津温泉湯畑」(草津町)

(2) 地域の特性に応じた屋外広告物の規制誘導

観光ルート等における良好な景観形成を図り、観光県ぐんまの魅力を高めるため、県内の主要観光ルートや高速道路等のIC周辺道路の沿線地域等において、地域の特性に応じた屋外広告物の規制誘導を推進します。



(3) 地域の風景や景観を創る公共事業の推進

世界遺産周辺など歴史的価値の高い地域や中心市街地・駅前広場など地域にとってシンボルとなる場所をはじめ、県内の各地域において、周辺の風景やまち並みに調和した質の高い公共空間の創出を図る「ぐんま景観形成モデル事業」を実施し、「ぐんまの魅力を上向きさせる社会資本整備」を推進します。

にぎわいを創出する道づくり

中心市街地や駅前広場など、地域特性を踏まえた景観に配慮した道づくりなど、にぎわいを創出する社会資本整備を推進します。



中央通り線イメージ図 (館林市)



上州富岡駅周辺整備 (富岡市)



おもてなし舗装^{*}の整備 (富岡市)

●地域の特性に応じた屋外広告物の規制誘導

上信自動車道における良好な景観形成を図り、観光県ぐんまの魅力を高めるため、上信自動車道沿線を「景観誘導地域」に指定します。

現在、川島バイパス・祖母島～箱島バイパス・吾妻西バイパス・ハッ場バイパス及び長野原バイパスが指定されており、H31は吾妻東バイパス及び吾妻東バイパス2期について、道路区域決定後、景観誘導地域に追加します。

- ・上信自動車道 景観誘導地域の追加指定

また、上信越自動車道（仮称）甘楽スマートインターチェンジ周辺道路について、新たに「景観誘導地域」に指定する手続きを行います。

●地域の風景や景観を創る公共事業の推進

周辺の風景やまちなみに調和した質の高い公共空間の創出を図るため、「ぐんまの風景を魅せるインフラ整備」チェックシートに基づき、モデル事業及びスキルアップチャレンジ事業を実施します。

- ・モデル事業数：40事業（平成31年度末現在）

【無電柱化】

市街地の良好な都市景観や住環境を確保するために、電線類を地中化します。

- ・県道桐生田沼線 無電柱化（桐生市）
- ・県道高崎渋川線 無電柱化（高崎市）
- ・（都）中央通り線 無電柱化（館林市）

世界遺産周辺の地域のにぎわいや景観形成を確保するために、電線類を地中化します。

- ・県道富岡神流線 無電柱化（富岡市）

【地域の風景をつくる川づくり】

多様な河川景観を保全・創出するために、河川整備を行います。

- ・一級河川 利根川 かわまちづくり（みなかみ町）
- ・一級河川 寺沢川 河川改修（前橋市）

【にぎわいを創出する道づくり】

商店街の活性化など、にぎわいの創出に配慮した歩道整備を行います。

- ・（都）中央通り線（館林市）
- ・県道富岡神流線 仲町通り（富岡市）

チェックシート表紙



富岡製糸場周辺の無電柱化



整備前

電柱がなくなって、スッキリ



整備後

利根川のかわまちづくり



おもてなし舗装



今年度のトピックス

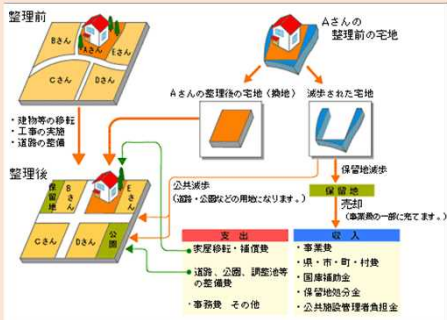
上信自動車道 景観誘導地域 H31年度追加指定予定
 （吾妻東バイパス及び吾妻東バイパス2期の道路区域決定後）
 県道高崎渋川線 無電柱化（高崎市） H31年度完成予定

(1) 快適な生活空間の整備

市街地の秩序ある整備を図り、快適な居住環境を形成するため、土地区画整理事業に取り組むとともに、県民の交流、憩いの場を提供するため、都市公園の整備や運営管理を行います。

【土地区画整理事業】

都市計画区域内の土地について、道路・公園等の公共施設を整備し、健全な市街地の形成と快適な居住環境の整備を推進します。



土地区画整理事業のイメージ



土地区画整理事業(高崎市)

【都市公園】

県民に憩いとレクリエーションの場を提供するため、県立都市公園の整備と適正な運営管理を行います。

また、誰でも安全で安心して公園を利用できるように、公園施設や植木の適正な管理とともに、公園施設のバリアフリー化を推進します。



敷島公園(前橋市)



観音山ファミリーパーク(高崎市)



金山総合公園(太田市)

(2) まちのにぎわい創出

誰もが、自然と外出したくなるような、にぎわいと活気のあるまちづくりを推進するため、中心市街地活性化の支援や花と緑で潤いのあるまちづくりに取り組みます。

【まちづくりパートナーネットワーク講座】

まちづくりの基礎知識や技法等を習得した「まちづくりリーダー」を育成し、住民主体のまちづくりの推進を図ります。



講座の状況



まちづくりワークショップの状況

【花と緑のぐんまづくり】

ふるさと「ぐんま」を花と緑あふれる、活力ある美しい地域にし、あわせて、まちなかの活性化を図るため、県民や市町村等と協力・連携し、「花と緑のぐんまづくり」の取組を推進します。



ふるさとキラキラフェスティバル



花と緑のクリーン作戦の実施状況

●快適な生活空間の整備

【市街地整備の促進】

市街地整備を促進させるために、土地区画整理組合が施行する区画道路整備や都市計画道路の整備を支援します。

- ・尾島東部地区（太田市）

市街化整備を促進させるために、市町村が施行する土地区画整理事業における県管理道路の整備を支援します。

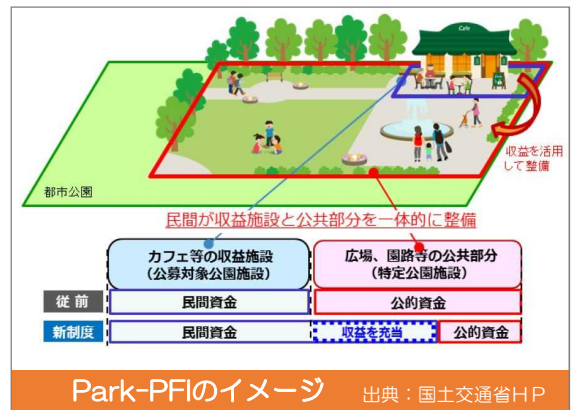
- ・伊勢崎駅周辺第一地区（伊勢崎市）
- ・中央第二地区（高崎市）
- ・沼田市周辺市街地地区（沼田市）

【都市公園】

都市公園における新たなニーズに対応するため、従来の官民連携制度では困難であった、民間資金等を活用した施設整備の実現に向け、「Park-PFI（公募設置管理制度）」の導入を引き続き進めます。

以下の都市公園については、昨年度に事業予定者を決定したので、今年度に協定を締結し、施設の供用開始を目指します。

- ・敷島公園（前橋市）



事業効果の例



敷島公園 Park-PFIの導入

～導入前～

（利用者ニーズ）
公園内にゆっくり座ってくつろげる場所が欲しい、飲食できる場所が欲しい



～導入後～

民間活力を導入し、よりサービスレベルの高い利用者ニーズに合ったくつろぎの場を整備することで、敷島公園の魅力が向上し、新たな賑わいが創出されます。



※応募提案時イメージパース

施策3

安心して暮らせる住まいづくり

【予算額】 913,563 千円

(1) 居住ニーズを踏まえた県営住宅等のリニューアル

若者世代・子育て世代、高齢者、障害者、低所得者世帯など、すべての県民の住まいに対する不安が解消され、誰もが安心して暮らせるよう、県営住宅のリニューアルや入居支援を行います。
また、県営住宅を活用した母子世帯向けシェアハウス等の導入に向けた検討を行います。

県営住宅等のリニューアル

県営住宅の建て替えや住宅改善時にあわせて、子育て世代や高齢者、障害者に適した住戸の改善を推進します。



広瀬第二県営住宅（前橋市）



広瀬第二県営住宅（前橋市）



(2) 群馬あんしん賃貸ネット

高齢者や障害者をはじめとした住宅確保要配慮者が入居を拒まれないよう、群馬あんしん賃貸ネット等により民間賃貸住宅に関する情報提供に取り組みます。

群馬あんしん賃貸ネット (群馬県居住支援協議会ホームページより)



(3) 地域包括ケアシステム構築の普及啓発

超高齢社会の到来を見据え、高齢者が自立して、安心・快適で健康的な生活ができるよう、福祉部局や市町村とも連携し、地域包括ケアシステム構築の普及啓発に努めます。

公共用地への福祉施設等の整備・運営の事例 (金井淵県営住宅 高崎市)



平成31年度 主要事業の概要

● 居住ニーズを踏まえた県営住宅等のリニューアル

誰もが安心して暮らせるように、県営住宅のリニューアルを推進します。

- ・ 広瀬第二県営住宅住戸改善事業（前橋市）
- ・ 中居県営住宅住戸改善事業（高崎市）



広瀬第二県営住宅A棟

今年度のトピックス

- 広瀬第二県営住宅A棟 H31年度完成予定
- 広瀬第二県営住宅H棟 H31年度着手予定
- 中居県営住宅E棟 H31年度着手予定

事業効果の例



改善前

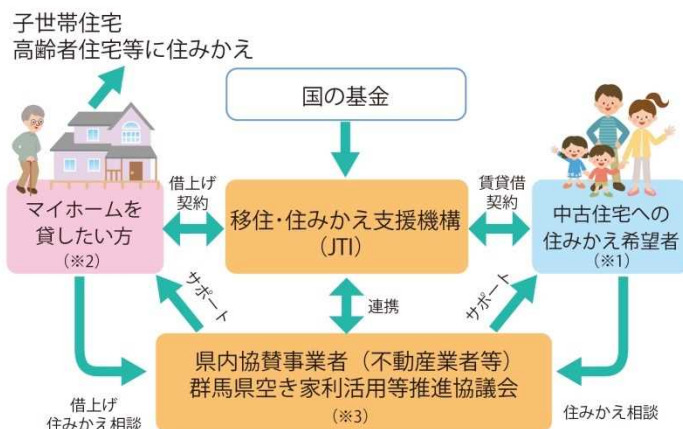
- ・ エレベーターが無く、住戸内の段差が大きいなど高齢者対応が不十分
- ・ 住棟の老朽化
- ・ 全室単一間取りで居住ニーズへ対応できていない。

改善後

- ・ エレベーター設置等によりバリアフリー化が推進されます。
- ・ 断熱、省エネ化により居住環境改善されます。
- ・ 間取り変更により多様な世帯へ対応できます。

(1) 空き家対策の総合的な推進

放置することで、地域の治安や安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害等が懸念される空き家を抑制するため、空き家の除去とともに、県内外からの移住者の新たな生活や活動の拠点として、空き家の利活用を促進します。



- ※1 子育て世帯・IUJターン希望者
- ※2 50歳以上の方または空き家を相続した方など
- ※3 総合窓口：ぐんま住まいの相談センター
窓 口：県・市町村

(2) 既存住宅ストックの活用

既存住宅については、適正に維持管理するとともに、県民が質の高い住宅に長く住むことができるよう、居住ニーズに合わせたリフォームを支援します。

住宅リフォームの促進

既存住宅のリフォーム支援に取り組むとともに「群馬安心リフォーム事業者登録制度」により、安心してリフォーム事業者を選択できる環境づくりを推進します。



住宅リフォームの事例（「ぐんまの家」設計・建設コンクール リフォーム住宅賞受賞作品より）

平成31年度

主要事業の概要

● 空き家対策の総合的な推進

・ 市町村空き家対策支援

空き家対策の推進のため、所有者不明の空き家等解体の支援、空き家対策のセミナーを開催します。

・ 県民への意識啓発

県民向けの空き家対策セミナーを開催し、ぐんま住まいの相談センターによる、空き家相談等への対応や、よりよい住まいづくりに役立つ情報の発信を行います。

特定空き家等の略式代執行



所有者不明特定空き家等解体支援

空き家等対策計画に基づき、所有者が不明な空き家を略式代執行で解体する市町村に対し、県が費用の一部を補助し、空き家対策を後押しします。

効果

債権回収が困難な略式代執行の市町村負担を軽減します。危険な空き家への対策が進み、地域の住環境が改善します。

政策 9

ハッ場ダム関連事業の促進

ハッ場ダムの建設により、住み慣れた土地から代替地などに移転されたすべての方々が安心して暮らせる地域づくり、ダム湖を活用した新たな魅力づくりを町・国と一体となって取り組みます。

施策 1

生活再建等関連事業の促進

【予算額】 17,316,237 千円

ハッ場ダム建設に関係する地元の方々が安心して豊かに暮らせるように、引き続き、町道、下水道など基盤となる施設や地域振興施設等の整備を、着実に進めていきます。



平成31年度

主要事業の概要

●生活再建等関連事業の促進

生活再建事業促進のために下記の施設整備を行います。

- ・ 地域振興施設整備（川原湯・横壁）
- ・ 県道川原畑大戸線（大柏木トンネル）
- ・ 川原畑スポーツ公園整備
- ・ （仮称）町営水没文化財保存センター

今年度のトピックス

川原湯地域振興施設	H31年度完成予定
横壁地域振興施設（屋内運動場）	H31年度完成予定
川原畑スポーツ公園	H31年度完成予定

横壁地域振興施設整備（屋内運動場）



（仮称）町営水没文化財保存センター



施策 2

ダム湖を活用した新たな魅力づくり

【予算額】 70,000 千円

ハッ場ダム周辺に訪れた観光客に快適にゆっくりと楽しんでもらい、ハッ場地域の活性化や、吾妻地域全体の交流人口の増加などを図るため、ハッ場ダム周辺地域の周遊ネットワーク化を図り、ダム湖やダム湖周辺の各地区の地域振興施設が連携した魅力ある地域づくりを行います。また、ダム湖周辺では、地元の方々と行政が協働で取り組む「やんば一万本桜プロジェクト」なども、引き続き、進めていきます。

平成31年度

主要事業の概要

●水源地域活性化支援事業

ハッ場ダムの新たな魅力づくりのため、ダム湖周辺に一万本の桜を植えます。
H31年度までに約3,000本の桜を植える予定です。

- ・ やんば一万本桜プロジェクト

やんば一万本桜プロジェクト

